PL病院ニュース
NO.308
2022年11月号
毎月1日発行

IVRセンターは今年で開設10年目を迎えました

IVRってなに?

IVR(アイブイアール)とはインターベンショナル・ラジオロジー(Interventional Radiology)という英語の略です。日本語訳は「放射線診断技術の治療的応用」という言葉が用いられますが、分かりづらいので【IVR】という言葉がそのまま用いられます。

IVRのここが凄い!! 体への負担が少ない治療です

レントゲン(X線透視)などの画像を見ながら病気の状態を正確に診断したうえで、カテーテルという細い管や針を操作して病気を治す治療法です。一般的にお腹を切って開けたりするような手術と比較して、傷口も小さく体への負担が少なく、高齢者の方にも安心して受けていただくことができます。また、体への負担が少ない分、社会復帰までの期間を短縮することも可能です。

緊急時にも頼れるIVR

交通事故や救急などで一刻も早く止血をしないといけない場合にもIVRは力を発揮します。

止血するためには、出血している箇所を早急に特定する必要がありますが、視覚的に大量出血の中で出血場所を見つけることは非常に難しく時間を要します。

IVRでは造影剤(X線で流れが確認できる液体の薬)を流し、血液が漏れている場所を速やかに特定し、止血することが可能です。

当院のIVRセンターには常勤のIVRの専門資格を有する医師・看護師が在籍しています。

IVRセンターで実施している主な治療

○肝がんに対する冠動脈塞栓術(TAE・TACE)　○出血に対する緊急止血術
○内臓動脈瘤塞栓術　○下肢静脈瘤のレーザー治療　○透析シャントの拡張術
○CTガイド下生検　○CTガイド下ドレナージ術　など

IVRセンターの詳細は当院HPにも掲載しておりますので下記QRコードまたはURLからご覧ください

http://www.plhospital.or.jp/contents/gNavi1/bumonCenter/ivr.html

IVRセンターに関するお問い合わせは放射線科受付までお願いいたします(TEL:0721-24-3100)